<table>
<tr><td>種名</td><td>

トビ

Milvus migrans

</td></tr>
<tr><td>分類</td><td>ワシタカ目　ワシタカ科</td></tr>
<tr><td>特徴</td><td>M形に切れ込んだ尾を持つ褐色の大きなタカ。ただし、尾は広げると三味線のばち形になる。ユーラシア大陸の亜熱帯以南、アフリカの一部、オーストラリアなどに広く繁殖地を持つ。日本では九州以北に留鳥として分布し、寒地のものの一部は冬期に暖地へ移動する。</td></tr>
<tr><td>生活</td><td>各地の海岸、水田地帯、河川、湖沼の周辺に棲息するが、市街地でもよく見かける。主に屍肉を食べるが、ネズミ、ヘビ、カエル、ミミズ、鳥などの生きている小動物も補食する。ゆっくりとしたはばたきを時々混ぜながら、翼を水平に保って悠々と帆翔していることが多い。地上や水面に餌を見つけると、急降下して脚でさらう。通常4～5月に2～3卵を産む。抱卵日数は30日位。巣立ちまでの日数は約40日である。</td></tr>
<tr><td>声</td><td>タカ類の中でもっともよく鳴き、人々に鳴き声が親しまれている鳥である。木の枝や屋根の上にとまって「ピィーヒョロロロ」と鳴き、帆翔中にもよく鳴く。ほぼ四季を通じて鳴くが、春期が一番盛んである。なお、幼鳥は声が短く甲高い声で鳴く。</td></tr>
<tr><td>見分け方</td><td>体中に淡褐色の斑があり、若鳥では特に顕著。独特の尾の形が確認出来れば他のワシタカ類との混同はないが、翼下面の白斑も見分けの助けになる。尾が見えない場合でも、体が暗色で、黒っぽい目と脚を持つことに注意する。</td></tr>
<tr><td>時期</td><td>

(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>全長 (L) ♂59cm♀69cm　翼開長 (W) 157～162cm</td></tr>
<tr><td colspan="2">参考文献：山渓カラー名鑑　日本の野鳥</td></tr>
</table>